

****重要****

これは特殊な DOS ブータブル CD-ROM です。SeaTools は DOS 上でのみ実行するようになっています。Windows アプリケーションではありません。

SeaTools は DOS ダイアログ ボックス内の Windows では実行できません。この CD の起動に関する詳細は、「SeaTools の使用」のセクションを参照してください。

Seagate Technology LLC
SeaTools for DOS v2.23
Copyright (c) 2010 by Seagate Technology LLC. All rights reserved.

Seagate SeaTools for DOS をご利用いただき、誠にありがとうございます。

このユーザ ガイドのファイルには、SeaTools に関する重要な情報が含まれています。このソフトウェアをご使用になる前に、ファイル全体をお読みください。

SeaTools for DOS は、包括的で使いやすい診断ツールであり、デスクトップ コンピュータまたはノートブック コンピュータ上のデータへのアクセスを阻害する要因を簡単に確認できます。用意されているさまざまなテストを使用して、Seagate または Maxtor 製ディスク ドライブおよび Seagate 製以外のディスク ドライブ上にある物理メディアを検査することができます。

目次

1. SeaTools の利点
2. SeaTools の使用方法
3. エラー コード
4. ヘルプ トピック: 「Bad Sector Found」
5. トラブルシューティング
6. 既知の制限
7. システム要件
8. 改訂履歴
9. FreeDOS および GNU 一般公衆利用許諾
10. インドユーザー使用許諾契約

=====

1. SeaTools の利点

保証による交換のため Seagate に返品されてくるドライブの大半は、テストの結果、「No Problem Found」(NPF: 問題なし) の100% 正常なドライブであることが判明します。保証サービスを受けるためにドライブを返品する場合、お客様にシステムのダウンタイムが生じると同時に、ドライブ製品を梱包および返送する手間がかかることとなります。ドライブを送付される前にドライブ

を交換する必要があるかどうかを確認していただくことで、不要な手間を省くことができる場合があります。このような判断に役立つこのハード ディスク診断ユーティリティは、お客様が時間と費用を節約し、データを保護するサポートをします。

たとえば、次のような場合、ハード ディスク ドライブ自体には「問題なし」と判断されます。

- * ファイル システムの破損
- * ドライバの破損
- * マスター ブート レコードの破損
- * ウイルスおよびトロイの木馬による攻撃
- * スパイウェア、アドウェア、キー ロガー
- * ハードウェアの競合

Seagate SeaTools は、簡単にロードできる、使いやすいソフトウェアです。この新しいソフトウェア ツールは、次の手順に従うことで最大限に活用できます。このソフトウェアまたはその他 Seagate ソフトウェア/サービスに関するお問い合わせは、システム サプライヤーまでご連絡ください。

=====

2. SeaTools の使用方法

テスト実行中は SeaTools CD を取り出さないでください。

Seagate SeaTools の実行

=====

A. システムの再起動

SeaTools CD を挿入し、コンピュータを再起動します（またはコンピュータの電源を入れます）。FreeDOS オペレーティング システムが起動します。システムが再起動しない場合は、このファイル後半の「トラブルシューティング」セクションの 5 番を参照してください。

B. テスト対象のドライブの選択

SeaTools をロードすると、システム上の各ストレージ デバイスがドライブ リストに一覧表示されます。最初に検出されたドライブが「Device 0」となります。

テストするドライブを選択します。適切なドライブを選択するよう、注意してください。選択されたドライブは、モデル ID 列にチェックマークが表示されます。

この画面には、モデル番号やシリアル番号など、デバイスに関する情報も表示されます。Seagate モデル番号は、先頭の文字が「ST」です。Seagate シリアル番号は、8 桁の英数字です。

C. 実行するテストの選択

実行可能な診断テストのメニューが表示されます。実行したいテストを選択してください。

基本的なテスト	高度な機能	ヘルプ
ショート テスト	容量の設定	目次
ロング テスト	ドライブの消去	使用許諾
アコースティック テスト		SeaTools for DOS について

[ショート テスト] を開始した場合、大半のドライブではドライブ セルフ テスト (DST) が実行されます。DST はハード ドライブのファームウェアに組み込まれた徹底的な診断ルーチンです。

ファームウェアはディスク ドライブを制御する機械語プログラミングです。DST では、データが完全に保護されます。

DST がサポートされていない古いドライブでは、DST をエミュレートするレガシー テストが実行されます。SeaTools では、コマンドラインで seatools.exe の後に switch /L を追加することで、レガシー テストを強制実行できます。

ほとんどの状況では、[ショート テスト] で十分です。

さらに包括的なテストを実行する必要がある場合は、ドライブの各セクタを読み取る [ロング テスト] を実行することを検討してください。

[ロング テスト] は完了まで長い時間がかかります。

[ロング テスト] はドライブの各セクタを読み取るため、必要な時間はディスク ドライブの速度と容量によって異なります。最も大容量のドライブでは、2~3 時間かかる場合もあります。テストは、ハード ドライブに悪影響を与えることなく、いつでも中止できます。[ロング テスト] では、不良セクタの可能性について情報が収集されます。

不良セクタが見つかった場合は、スキャン終了後 (またはスキャン中止後) にリストが表示されません。

問題のあるセクタに対して修復を試みることができます。

D. 診断の実行

SeaTools は、選択したハード ディスク ドライブまたはデバイスに対して、不具合の可能性がないか、データを保護しながらテストを実行します。ロング テストは、いつでも中止できます。テストを中止するには、キーボードの ESC (Escape) キーを押します。

不良セクタ (LBA) は [ロング テスト] でのみ検出されます。これらの不良セクタは、データ ファイルの一部となっている場合もあれば、オペレーティング システムのディレクトリ構造の一部である可能性もあります。また、使用されていない空のセクタの場合もあります。セクタが不良で読み取り不可能な場合、そこにあったデータはすでに失われていることにご留意ください。詳細については、セク

シヨ ン 4 「ヘルプ トピック: Bad Sector Found」を参照してください。

E. テスト情報および結果

診断テストが完了すると、テスト結果が表示されます。各ドライブのログが RAM ドライブに保存されます。

テスト結果には次のものがあります。

- 合格
- 修復後に合格 (Seagate および Maxtor のみ)
- 不合格
- ユーザが修復をスキップ
- 中止

[修復後に合格] は読み取り不可能な不良セクタが検出され、それに対してユーザが代わりの空きセクタに再割り当てを行うことを SeaTools に許可し、それが成功した特殊な状況です。この場合、ドライブは良好であると見なされます。ごく少数の不良セクタが検出されても、通常は心配には及びません。たとえば、200GB のドライブには、実に 4 億近いセクタがあります。しかし、ロング テストを頻繁に実行して、不良セクタが増加傾向にないか確認する必要があります。

[SeaTools テスト コード] - ドライブが妥当な保証テストに合格しなかったと SeaTools for DOS が判断した場合、SeaTools テスト コードが表示されます。保証による交換を行う場合は、このコードを保存しておいてください。Seagate 製品の保証ステータスは、製品の販売方法によって異なります。お使いのハード ドライブが OEM システムの場合、OEM がドライブの保証を行います。

SeaTools テスト コードは合格しなかったテストの種類と製品シリアル番号によって異なります。同じコードは 2 つとありません。オンラインの RMA 送信システムでは、SeaTools テスト コード番号を使用して、製品交換処理を効率化しています。Seagate ではこのコードによってドライブが実際に不良品であることを確認し、良好なドライブが返品されることのないようにしています。

オンラインの保証および返品手続きを利用してドライブを Seagate に返品する場合、シリアル番号とモデル番号、SeaTools テスト コードをフォームに入力する必要があります。

F. 容量の設定

ディスク ドライブの容量が大きすぎると、小さく設定し直さなければならない場合があります。逆に、容量の小さいドライブではネイティブの最大容量にリセットしなければならないこともあります。このセクションには次の 3 つのオプションがあります。

32GB に容量を設定 - 古いシステムで一般的に使用される設定です。

最大ネイティブに容量に設定 - 最大容量が復元されます。

手動で容量を設定 - 特定のサイズに設定できます。

G. ドライブの消去

ゼロフィルのデータ パターンを使用すると、データが破壊され、ドライブからデータを消去した場合と同様の結果となります。

Seagate はデータの損失について責任を負いません。ドライブ消去は、Seagate または Maxtor のドライブのみで使用できます。

このセクションには次の 3 つのオプションがあります。

0 でトラックを消去 - インストールされている古いオペレーティング システムを消去するのに使用します。短時間で実行できます。

すべてをゼロにする - このコマンドはハード ドライブのすべてのセクタに 0 を書き込みます。この作業は数時間かかる場合があります。

定時フィル - T 選択で設定した時間の値を使用し、その時間の分、セクタを消去します。

実行する秒数を設定します。数値を大きくするには [T] を押します。

FDE 暗号化削除 - フル ディスク暗号化モデルのディスク ドライブでは、このオプションが使用できます。

暗号化削除を開始するには、適切なパスワードまたは SID (ドライブ上部のラベルに記載) を入力する必要があります。

ドライブを消去することを確認するために、「YES」と入力する必要があります。

ドライブに不具合が起こった場合、データを破壊するゼロ フィルのデータ パターンまたはロー レベル フォーマットを使用することで正常に動作するようになることがよくあります。これは、最近のディスク ドライブには読み取りまたは書き込みが困難になった場合に自動的に再割り当てされる予備のセクタが何千も含まれているためです。SeaTools は読み取り専用 (データが保護される) であるため、時として予備のセクタに再割り当てされていない不良セクタが多数あるドライブでは、それらのセクタに書き込みを行うと再割り当てを強制できる場合があります。予備のセクタの再割り当ては、ドライブのインテリジェントな通常操作です。

詳細については、セクション 4 「ヘルプ トピック: Bad Sector Found」を参照してください。

Seagate はデータの損失について責任を負いません。

H. アコースティック テスト

不良ドライブでは、異常なノイズが発せられることがあります。しかし、電源または CPU ファンのノイズがハード ドライブのノイズと誤解されることも多くあります。このテストは、電源管理のスタンバイ状態のようにドライブをスピンドアウンさせます。ドライブからノイズが発せられていた場合は、それが止まるはずですが、ノイズがそのまま続く場合は、ハード ドライブが音の原因ではないことになります。

I. ログの表示

テストの結果は、ドライブのシリアル番号に基づくファイル名でログ ファイルに保存されます。このレポートはフロッピー ディスクに保存したり印刷したりできます。

**** 注 **** このレポートは、フロッピーに保存せずに SeaTools を終了した場合でも、シ

システムを再起動するまで RAM ドライブに残っています。CD で起動した場合、フロッピー ドライブは通常 B:\ ドライブとなります。システムによってはフロッピー ディスク ドライブがない場合もあります。その場合、テスト ログ ファイルを保存することは困難です。USB ストレージ デバイスを使用してログ ファイルを保存する方法については、下記トラブルシューティング セクションの 5 番 (トピック: ログ ファイルを保存または印刷できない) を参照してください。

**** 注 **** プリンタが USB ポートに接続されている場合、DOS アプリケーションから印刷することはできません。SeaTools からは、プリンタがパラレル プリンタ ポート (LPT1) に接続されている場合にのみ印刷が可能です。

I. 終了

プログラムを終了するには、メイン メニューから [終了] を選択します。[CTRL] - [ALT] - [DEL] を押してシステムを再起動するか、電源を切ります。

=====

3. エラー コード

SeaTools for DOS では、インターフェースによって、およびエラーまたはステータスが発生した際に実行されていたテスト モジュールによって、さまざまなエラー コードが表示されます。ドライブ セルフ テスト (DST) がオフラインで実行されている場合、DST 結果コードが提示されます。

DST はハード ドライブのファームウェアに組み込まれた徹底的な診断ルーチンです。ファームウェアはディスク ドライブを制御する機械語プログラミングです。DST では、データが完全に保護されます。また、SMART (Self Monitoring, Analysis and Reporting Technology) 技術がファームウェアに組み込まれているため、これらのエラーによりデータ読み取りの際の過度の再試行など、起こりつつある問題を事前に警告してくれます。SMART エラーは今後起こる可能性のあるドライブの故障の予測したものです。必ずデータを定期的にバックアップしてください。

ドライブがまったく機能していない場合、メーカーやモデル、エラー コードは一切表示されません。

最も一般的なエラー コード (これらのコードはテスト中画面に短時間表示される場合があります)

ATA ドライブ セルフ テスト (DST)

セルフ テスト実行のステータス値

0h 前回のセルフ テスト ルーチンがエラーなしに完了したか、セルフ テストが一度も実行されていません

1h セルフ テスト ルーチンがホストによって中止されました

2h セルフ テスト ルーチンがホストによってハードウェアまたはソフトウェア リセットを

使用して中断されました

- 3h デバイスがセルフ テストを実行中に致命的なエラーまたは未知のテスト エラーが発生し、セルフ テスト ルーチンを完了できませんでした
- 4h 前回完了したセルフ テストで合格しなかった箇所があり、その正体が不明でした
- 5h 前回完了したセルフ テストで電気素子に問題がありました
- 6h 前回完了したセルフ テストでサーボ (および/またはシーク) テストの要素に問題がありました
- 7h 前回完了したセルフ テストで読み取り素子に問題がありましたログ ファイルには次のように表示されます。
DST - Errors - Status: 07

オフラインでのデータ収集ステータスのバイト値

- 01h 確保済み
- 02h または 82h オフラインのデータ収集活動がエラーなしに完了しました
- 03h 確保済み
- 04h または 84h オフラインのデータ収集活動がホストからの中断コマンドにより一時的に停止されました
- 05h または 85h オフラインのデータ収集活動がホストからの中断コマンドにより中止されました
- 06h または 86h オフラインのデータ収集活動がデバイスの致命的なエラーにより中止されました

=====

4. ヘルプ トピック: 「Bad Sector Found」

重要: 「Bad Sector Found」のオプションに関する情報を読み、すべてのオプションを慎重に検討してください。

不良セクタは、エラーが報告され適切にアクセスできない、ディスク ドライブ上の小さい領域です。新しく発生した不良セクタは、2 次的欠陥であり、何らかの物理的損傷によって生じます。ファイルまたはフォルダによってこのセクタが使用されている場合、そこにあるバイトは読み取りができないため、ファイルはすでに不完全であるか破損しています。

**** 注**** 以下の情報は、Seagate Technology または Maxtor ブランドのディスク ド

ライブのみに当てはまります。

SeaTools では読み取り中に不良セクタが発見された場合、スキャンの最後に不良セクタのリストが表示されます。

セクタが使用されている場合、そこにあるファイルは不完全であるか破損しています。不良セクタにフォルダまたはディレクトリー 覧構造が格納されていた場合は、ファイルへのリンクや管理されているサブフォルダも破損している可能性があります。不良セクタは使用されていない場合もあります。

データの重要性を慎重に検討する必要があります。セクタは現時点で読み取り不可能になっているため、そこにあったファイルまたはフォルダが重要である場合には、データを復元するためにプロのリカバリ サービスが必要となる可能性もあります。この場合は、[いいえ] を選択して、ドライブの空きセクタを再割り当てすることなく終了してください。

ファイルまたはフォルダが置換可能である場合やすでにバックアップが存在する場合、それほど重要でない場合は、SeaTools にそのセクタを上書きするよう指示できます。

設計上、最近のディスク ドライブには再割り当てのための予備セクタが存在します。通常、セクタは読み取りが不可能になる前に長期間読み取りが困難な状態が続きます。このような状況では、そのセクタにある実際のデータ バイトが保存され、セクタの再割り当ての際に新しい予備のセクタに転送されます。同様に、ディスク ドライブがデータを書き込もうとして問題が発生した場合、ドライブのファームウェアが問題の生じたセクタを使用廃止にし、代わりのセクタをアクティブにして書き込みを正常に完了します。

不良セクタを上書きする許可を与えると、SeaTools はそのセクタにゼロのパターンを書き込もうとします。通常、このアクションはディスクドライブのファームウェアが問題の LBA の使用を廃止し、代わりに予備をアクティブにすることで問題を管理するのに役立ちます。

注: Seagate Technology はデータの損失について責任を負いません。

=====

5. トラブルシューティング

ドライブが検出されない

- 当然のことながら、破損したドライブはシステムまたはソフトウェアと通信もできなければ、検出もされません。電子部品に損傷のあるドライブは、一見機能しているように見えても、システムと通信する機能が破損しています。いずれの場合も、故障したドライブといえます。
- 新しいドライブが検出されない最も一般的な理由のひとつに、ケーブルまたはジャンパの設定があります。また、システムの BIOS 設定が問題となっていることもよくあります。ドライブは BIOS で [ON] になっている必要があります。これは、2 つ目のドライブを追加する場合に特に重要です。これらの項目が正しく設定されていることを再確認してください。
- 時として、正常に機能しているドライブがソフトウェアによって検出されない場合があります。ディスク ドライブはコントローラと呼ばれる、マザーボード上の電気回路のセクションを通じてコンピュ

ータに接続されます。ソフトウェアは既知のコントローラでは最新のものが維持されるようになっていますが、コントローラが未知のものであるためにドライブが検出されない事態が発生することがあります。

SeaTools がロードされない

- SeaTools CD を挿入してコンピュータの電源を入れても SeaTools がロードされない場合、「ブート シーケンス」で最初にハード ディスクから起動するよう設定されている可能性があります。

ブート シーケンスを変更して最初に CD ドライブから起動するようになるには、お使いのコンピュータで [セットアップ] または [CMOS セットアップ] に移動する必要があります。[セットアップ] または [CMOS セットアップ] に移動する方法はコンピュータのメーカーやモデルによって異なりますが、ほとんどの場合は電源を入れて最初のブート シーケンスの間に 1 つのキーまたは複数のキーを順に押すことで移動できます。

ブートアップの際に画面に表示される「Press F2 to enter Setup」などのメッセージをよく見て、お使いのコンピュータで使用されるキーを判断してください。ほとんどすべてのシステムでは、キーを押さなければ短時間後に自動的に起動が続行されます。タイミングを逃さないようにしてください。適切なキーを押す時間が数秒しかない場合もあります。

セットアップに移動するのに押すキーとしては以下が一般的です。

- [F2]
- [DELETE]
- [F1]
- [CTRL]-[ALT]-[S]
- [CTRL]-[ALT]-[ESC]
- [CTRL]-[ALT]-[ENTER]

注: [CTRL] - [ALT] - [____] のシーケンスを使用するコンピュータの中には、プロンプトが表示された状態でキーを押さなければならないものもあります。セットアップに移動する方法がわからない場合は、お使いのコンピュータのマニュアルを参照するか、コンピュータのメーカーまたはコンピュータを購入した店にサポートを求めてください。

CD-ROM が起動できない

- CD を起動するには、システムの BIOS が CD 上のシステムと互換性がなければなりません。この問題は古いシステムで起こる可能性があり、ブート CD と互換性がないことを示しています。この場合、ブート CD の代わりに SeaTools v2.18 ブート フロッピー ディスクを使用することで問題が解決できます。この以前のバージョンのソフトウェアのコピーを入手するには、Seagate テクニカル サポートにご連絡ください。

ログ ファイルを保存または印刷できない

- 最近では多くのコンピュータ システムにフロッピー ディスク ドライブが搭載されておらず、テスト結果のログ ファイルを保存するのが困難になっています。同様に、通常使用されている USB プリンタは Windows でのみ印刷ができるようになっており、DOS での印刷は不可能です。

これらの状況での解決策の可能性のひとつに（これは適切なセットアップ オプションのあるシステムに限られます）、USB ストレージ デバイスをシステムに接続する方法があります。この場合、セットアップで USB ストレージ デバイスの起動を可能にするオプションが必要です。USB サポートのあるシステムの 2 つの例

-->>Dell Optiplex GX270 の場合

起動中に右上隅に次のように表示されます。

```
F2 = Setup
F12 = Boot Menu
```

[F2] を押し、次のように順序を設定します。

ハード ディスク ドライブの起動順

1. USB デバイス
2. システム BIOS ブート デバイス
ブート シーケンス (BIOS デバイス)
 1. ディスク ドライブ
 2. IDE CD-ROM デバイス
 3. ハード ディスク ドライブ C:

-->>Dell Inspiron 1150 の場合

起動中に右上隅に次のように表示されます。

```
F2 = Setup
F12 = Boot Menu
```

セットアップの 2 ページで [F2] を押し、次のように順序を設定します。

***** ブート オーダー *****

```
ディスク ドライブ
USB ストレージ デバイス
CD/DVD/CD-RW ドライブ
内蔵ハード ディスク ドライブ
```

上記のシステムの例ではいずれも、USB デバイスを CD より前に設定し、さらに CD をハード ディスク ドライブよりも前に設定する必要があります。USB ストレージ デバイスとしては広範な製品が使用できます。最もシンプルで廉価なのは USB フラッシュ ドライブです。USB 外付けハード ドライブも使用できます。大容量のハード ドライブはシステムの BIOS と互換性のない場合がありますが、フラッシュ デバイスではそのような問題はありませ

SeaTools ブータブル CD を挿入し、USB ストレージ デバイスを接続します。

システムを再起動します。システムは、上記で設定した順序に従ってまず USB デバイスから起動を試みますが、オペレーティング システムがないため起動できません。次に BIOS をチェックした後、IDE CD-ROM デバイスに移り、SeaTools を起動します。USB デバイスが検出された場合は、(FAT 形式のノンブータブル) C: ドライブとしてマウントされ、ここにログ ファイルを保存できます。

SeaTools を実行して終了し、*.log を C: ドライブにコピーします。これで、フロッピーなしでログを保存できました。RAM ドライブが C: に設定されている場合は、セットアップにおいて DOS での USB ストレージがサポートされていません。USB デバイスのファイル システムは FAT16 または FAT32 形式である必要があります。DOS では NTFS は認識されません。

電話でお問い合わせの際は

- 問題の報告に際し電話でご連絡いただく場合は、できるだけ多くの情報をご提供いただけるようお願いいたします。可能であれば、次の詳細をご提示ください。

問題はどのようなときに発生しますか。

診断用オペレーティング システムを起動した際
ハード ディスク ドライブのテスト中
SeaTools を終了後

- 問題を再現することは可能ですか。可能な場合は、その手順を説明してください。
- システム構成はどのようになっていますか。次のような、テストを行ったシステムの詳細をリストしてください。
 - メーカーおよびモデル、プロセッサ、システム メモリ
 - メーカーおよびモデル、サイズ、種類を含む、システムに接続されたハード ディスク ドライブ（内蔵および外付け）の情報
 - ハード ディスク ドライブ コントローラのメーカーおよびモデル
 - ビデオ アダプタのメーカーおよびモデル
 - サウンドやマルチメディアを含む追加のアダプタ カード
 - 接続されている周辺機器（マウス、テープ バックアップ、プリンタなど）

=====

6. 既知の制限

* SeaTools は ハード ディスク ドライブに対する CMOS が [none] に設定されている場合、そのドライブを

検出できず、アクセスができない場合があります。

* SeaTools for DOS はまったく機能していないドライブを検出することはできません。この場合、メーカーやモデル、エラー コードは一切表示されません。ドライブが保証期間中である場合は、システムのサプライヤーにご連絡ください。

* SeaTools ではサポートされていない、通常は非常に新しいチップセットに接続されたドライブが検出されない場合があります。

SeaTools for DOS ソフトウェアの最新バージョンおよび「よくある質問」(FAQ) の最新リストは <http://www.seagate.com> を適宜ご覧ください。Seagate では今後も引き続きこのソフトウ

エアに新機能を追加していく予定ですので、ご期待ください。

=====

7. システム要件

- * Pentium クラス同等またはそれ以上のプロセッサを内蔵した IBM 互換 PC
- * VGA 640 x 480 以上のグラフィック機能
- * 64 MB RAM
- * プータブル CD サポート

=====

8. 改訂履歴

テキスト

v1.08	2007 年 1 月 30 日	SeaTools for DOS 最初の公開リリース
v1.09	2007 年 2 月 28 日	メイン メニューにヘルプ オプションを追加
v1.10	2007 年 7 月 11 日	Intel ICH8 SATA コントローラ チップセットをサポート。新規 EULA

GUI

v2.05	2007 年 5 月 9 日	多言語のグラフィック バージョン 英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語 スペイン語、ポルトガル語、日本語 中国語（簡体字および繁体字）
v2.07	2007 年 7 月 11 日	Intel ICH8 SATA コントローラ チップセットをサポート。新規 EULA
v2.13b	2008 年 12 月 16 日	Intel ICH9 および ICH10 SATA コントローラ チップセットをサポート。 Seagate FDE ディスク ドライブの FDE 暗号化 削除を追加
v2.14	2009 年 1 月 21 日	キーボード スキャン コードのサポートを追加
v2.15	2009 年 9 月 10 日	ファームウェア リマインダ チェックを追加
v2.16	2009 年 9 月 28 日	ロング テストのシーケンスを改善
v2.17	2009 年 10 月 1 日	妥当な保証テストに合格しなかった場合に SeaTools テスト コードを表示し、保証による返 品の手続きを促進
v2.18	2010 年 1 月 5 日	韓国語を追加。SeaTools テスト コードの説明の 翻訳
v2.19	05-Apr-2010	Help content now translated.
v2.20	25-Apr-2010	Bug fix when calculating large drive capacity.
v2.21	04-Jun-2010	Adding Vietnamese language.
v2.22	28-Jun-2010	Adding Russian and Thai languages.
v2.23	31-Dec-2010	Added Long Test time out failure for

drives that take too long to complete
the Long Test.

=====

9. FreeDOS および GNU 一般公衆利用許諾

このソフトウェアは、GNU 一般公衆利用許諾 (GPL) の条件の下、配布されているオープン ソース製品、FreeDOS カーネルを使用しています。この製品で使用されている FreeDOS カーネルのソース コードは

<http://www.seagate.com/support/seatools/freedos/kernel.zip> で入手できます。

FreeDOS の最新のコピーは <http://www.freedos.org> で入手可能です。

=====

10. エンドユーザー使用許諾契約

シーゲート・ソフトウェアに関するエンドユーザ・ライセンス契約

本エンドユーザ・ライセンス契約(以下「本ライセンス契約」といいます。)を慎重にお読みください。「同意します」をクリックすることで、または本製品(ソフトウェアおよび関連ファイル(以下「本ソフトウェア」といいます。)、ハードウェア(以下「本ハードウェア」といいます。)、ディスク、CD-ROM、その他のメディアを含みますがこれらに限られません。)(以下「本製品」と総称します。)の全てまたは一部をダウンロード、セットアップ、インストールまたは使用するために何らかの方法を採用することで、貴殿および貴殿の会社は本ライセンス契約の全ての条項および条件を承認したことになります。貴殿が本製品を貴殿の会社で使用するために取得する場合、貴殿は自らが授けられた代表者であり、その権限で貴殿の会社に本ライセンス契約を遵守させる旨を表明するものとします。貴殿が同意しない場合、「同意します」をクリック、本ソフトウェアのダウンロード、セットアップ、インストールまたは使用は行わないでください。

1. 所有権 シーゲート・テクノロジーLLC(以下「シーゲート」といいます。)およびそのサプライヤーは本ソフトウェアの、または本ソフトウェアに対する一切の権利、所有権、利権およびその一切の知的財産権を所有します。本ソフトウェアは、使用許諾されたものであって、譲渡されたものではありません。本ソフトウェアの構造、構成およびコードはシーゲートおよびそのサプライヤーの貴重な企業秘密かつ機密情報です。本ソフトウェアは、米国その他の諸国の著作権法を含みますがこれらに限られない著作権法、その他各知的財産法および条約により保護されています。本使用許諾契約において「サードパーティ ソフトウェア」は「ソフトウェア」とは見なされず、「ソフトウェア」には含まれません。「サードパーティ ソフトウェア」とは、シーゲートが使用を許可したサードパーティの特定ソフトウェアを指し、お客様がライセンスを取得されているソフトウェアのバージョンによって提供されるものです。サードパーティ ソフトウェアは一般的に下記利用規約の制約を受けませんが、当該サードパーティ ソフトウェアのライセンスによる利用規約の対象となります。サードパーティ ソフトウェアのご利用は、当該ライセンスの使用許諾契約の対象となり、その制約を受けます。ただし、本使用許諾契約のセクション 1、5、6 の制約も受けます。本エンド ユーザ使用許諾契約に従い、お届けした当該サードパーティ ソフトウェアのライセンスおよび/または法的事項は <http://www.seagate.com/www/ja-jp/support/downloads/> でご確認いただけます。

当該サードパーティソフトウェアに関しては、かかるサードパーティソフトウェアの全ライセンス条項の利用規約を守ることに同意いただきます。サードパーティソフトウェアのソースコード入手に関する情報は<http://www.seagate.com/www/ja-jp/support/downloads/> をご覧ください。

2. 本製品のライセンス 貴殿が本ライセンス契約を遵守することを条件として、シーゲートは貴殿に対し個人的、非独占的、譲渡不能な制限付ライセンスを付与しており、当該ライセンスにより関連文書に記載される使用目的に限り、貴殿は社内、その利用場所に設置されたデバイス1台に本ソフトウェア1本をインストールし、使用することができます。本製品に付属するCDまたはその他のメディアに含まれる一部の第三者ソフトウェアの使用については、別途のライセンス契約の条項および条件に従うことがあり、そうしたライセンス契約は、当該製品と共に提供されるCDまたはその他メディア内の"Read Me"ファイルに含まれていることがあります。ソフトウェアには、サードパーティが提供する特定のサービス（「サードパーティサービス」）に接続、またはそのようなサービスを使用するためのコンポーネントが含まれます。サードパーティサービスのご利用にあたり、当該サードパーティサービスプロバイダの使用許諾契約に合意いただくことになります。本契約で明示的に規定する場合を除き、本ライセンス契約は貴殿に本製品の知的財産権を付与するものではなく、シーゲートおよびそのサプライヤーは、明示的に貴殿に付与されない一切の権利を留保するものとします。黙示的な権利は一切存在しないものとします。

2.1. 本ソフトウェア 貴殿はまた、バックアップおよび災害復旧目的で行う場合に限り、本ソフトウェアのコピー1本を作成することができます。貴殿は本ソフトウェアの変更または修正、または本ソフトウェアの新しいインストーラーの作成をすることはできません。本ソフトウェアはシーゲートにより同社ストレージ製品のみと併用する目的でライセンスおよび配布されており、シーゲートストレージ製品以外の製品との併用は許可されていません。

3. 制限 貴殿は以下を行うことは認可されていません

- a. 本製品または（本ソフトウェアを含みますがそれに限らず）本製品の一部もしくはパーツを基に派生的製品を作成すること。
- b. 本製品の全部または一部を複製すること。
- c. 下記第10条で明示的に認められている場合を除き、第三者に対して本製品の全部または一部を販売、譲渡、ライセンス、開示、その他引き渡しもしくは利用させること。
- d. 本契約上の禁止規定にかかわらず適用法により明示的に認められている行為は、その認められている限度において除き、本製品またはその一部もしくはパーツを変更、修正、デコンパイルすること、またはそのリバース・エンジニアリングを試みること。
- e. 第三者に業務を提供するために本製品を使用すること。
- f. ソフトウェアのオープンソース使用許諾契約にまだ同意されていない場合は、同意なさようお勧めいたします。
- g. 本製品上の財産権の表示または商標を取り除きもしくは変更すること。

4. 更新 貴殿が本ソフトウェアの更新版もしくはアップグレード版または新版（以下「更新版等」といいます。）を受け取る場合、貴殿は更新版等を使用するために旧版の有効なライセンスを取得していなければなりません。貴殿に提供される全ての更新版等は本ライセンス契約の条項および条件に従うものとします。貴殿は、更新版等を受け取る場合、自らの占有、保管または管理のもと、引き続き本ソフトウェアの旧版を使用することができます。シーゲートは、更新版等の提供により本ソフトウェアの旧版をサポートする義務を負わないものとします。シーゲートは本ライセンス契約に基づきサポート、メンテナンス、更新版等または修正版を提供する義務を負いません。

5. 保証の不存在 本製品およびサードパーティ ソフトウェアは現状渡しとして提供され、明示的に黙示的にもいかなる保証も付されません。シーゲートおよびそのサプライヤーは法定のものであると、明示的であると黙示的であると問わず一切の種類の全ての保証を明確に放棄します。当該放棄される保証には商品適格性、特定目的への適合性および非侵害性に関する黙示的な保証を含みますが、これらに限られません。サードパーティ サービスはシーゲートが提供するものではなく、したがってシーゲートではサードパーティ サービスに関する保証は一切いたしません。 サードパーティ サービスのご利用はお客様ご自身の責任に帰すものとします。

6. 偶発的、間接的その他特定の損害の除外 適用ある法律により許容される範囲で、シーゲートまたはそのライセンサーやサプライヤーはいかなる場合も、本製品またはその一部もしくはパーツの使用もしくは使用不能から発生する、サービスおよびサードパーティ サービスに関連する、またはそのことに何らかの形で関連する、あるいは本ライセンス契約の規定に基づくまたはこれに関連する一切の特別、偶発的、懲罰的、間接的または二次的損害(利益もしくは秘密その他の情報の喪失による、事業の中断による、人身障害による、プライバシー逸失による、善意もしくは注意義務などの責任を果たさなかったことによる、怠慢による、その他一切の金銭上その他の損失による損害を含みますがこれらに限られません。)について責任を負わないものとし、これはシーゲートもしくはそのライセンサーやサプライヤーによる過失、不法行為(過失によるものを含む)、不実表示、厳格責任、契約違反または保証違反の場合であると、シーゲートまたはそのライセンサーやサプライヤーがかかる損害の可能性を知らされていた場合であると、あるいは本契約または救済手段の本質的な目的の不履行の場合であるとを問いません。

7. 責任の制限 貴殿が理由の如何を問わず被る損害にかかわらず、本ライセンス契約の規定および貴殿の本契約上の唯一の救済に基づくシーゲートの包括的責任は限定的なものであり、いかなる場合もシーゲートの累積的損害賠償総額はライセンサーが本製品についてシーゲートに支払った費用を上回らないものとします。また、いかなる場合においても、シーゲートのライセンサまたはサプライヤーは、あらゆる種類の損傷に対して一切の責任を負いません。

8. 補償 本ライセンス契約を承認することにより、貴殿は、貴殿が本製品を使用したこともしくはその他の本製品(サードパーティ サービスを含みますがこれらに限られない)に関連することから、またはそれに関連してもしくはその結果として発生する一切の直接的、間接的、偶発的、特別、二次的、または懲罰的損害からシーゲート、その役員、従業員、代理人、子会社、関連会社、その他のパートナーを補償し、あるいは免責することに同意するものとします。

9. 国際取引における遵守事項 本ライセンス契約に基づきダウンロードできる本ソフトウェアおよび一切の関連する技術データはアメリカ合衆国(以下「米国」といいます。)の関税および輸出管理に関する法令に準拠するものとし、またダウンロードが実行された国における関税および輸出管理に関する法令に準拠する場合があります。さらに、米国法に従い、本ライセンス契約に基づきダウンロードできる本ソフトウェアおよび関連する技術データは、一定の国々に対して販売、リースその他譲渡することができず、また規制対象となっているエンドユーザ(<http://www.bis.doc.gov/complianceandenforcement/liststocheck.htm>のウェブサイトに掲載されている米国政府規制対象者リストの該当者)もしくは大量破壊兵器に関する活動に携わるエンドユーザに使用させることはできません。かかる大量破壊兵器に関する活動には、核兵器、核物質、核施設、ミサイルもしくは援護ミサイル計画、または化学兵器もしくは生物兵器の設計、開発、製造に関連する活動を含みますが、これらに限られません。貴殿は、自身がキューバ、イラン、北朝鮮、スーダンまたはシリアの国民、国籍保有者もしくは住人でない、または貴殿が米国の輸出管理法に規定されている規制対象のエンド・ユーザーの該当者ではない、あるいは貴殿が拡散活動に従事していない旨、同意するものとします。さらに、貴殿は、自身がこれらの

国の政府による管理下でない旨、および本ソフトウェアおよび関連する技術データを直接的にも間接的にも上述の国々またはその国民、国籍保有者もしくは住民、または規制対象となっているエンド・ユーザーに対して、あるいは規制対象となっているエンド・ユースのためにダウンロードその他輸出もしくは再輸出しない旨同意するものとします。

10. 一般条項 ライセンサーとシーゲート間の本ライセンス契約は、抵触法の原則にかかわらず、カリフォルニア州法に準拠し、これにより解釈されるものとします。本ライセンス契約はシーゲートと貴殿間の本製品に関する包括的な合意であり、貴殿による本製品の使用を管理するものであり、本契約の目的に関する貴殿とシーゲート間の一切の従前の契約に優先するものです。本ライセンス契約のいずれかの規定が、管轄権ある法域の裁判所により法律に抵触すると判断された場合、当該規定は法律で許容される範囲で当初の規定の目的を最大限に履行するよう変更、解釈されるものとし、本ライセンス契約のその他の規定は引き続き有効となります。本製品および関連する技術データは制限付権利を付して提供されます。米国政府による使用、複製、または開示は、DFARS 252.227-7013(技術データおよびコンピュータ製品の権利)の(c)(1)(iii)または、適用ある場合、48 CFR 52.227-19(商用コンピュータ製品—制限付権利)の(c)(1)および(2)に定める制限規定に準拠します。製造元はシーゲートです。貴殿は本ライセンス契約または本ライセンス契約上の一切の権利を移転または譲渡することはできません。ただし、貴殿が、他のエンド・ユーザーに対して本ライセンス契約または本ソフトウェアを一回限りで、永続的に譲渡することができる場合はこの限りではないものとします。その場合、①貴殿が本ソフトウェア、本ハードウェア、メディア、印刷された資料、更新版(存在する場合)および本ライセンス契約のコピーを一切保管せず、②譲渡の前に、本ライセンス契約および本ソフトウェアを受領したエンド・ユーザーが、本ライセンス契約のすべての条項に同意していることを条件とします。本条項に反する一切の譲渡の試みは無効となります。シーゲート、シーゲートのロゴ、ならびにその他のシーゲートの名称およびロゴはシーゲートの商標となります。

Rev. 2.1.2010

(C) 2010 Seagate Technology LLC.

--EOF: README.TXT--